



本紙に掲載されている本会オンライン事業の画像は、本会理事長が撮影を許可した広報委員会によるものです。本会オンライン事業に関するコンテンツの複製、その利用等は、目的の如何および個人利用を問わず、本会理事長が許可した場合を除き一切禁止しております。



News Letter

No.48

一般社団法人日本老年歯科医学会 会報

2022年6月30日発行

【本号のトピックス】

33回学術大会報告／理事長挨拶／本会役員が改選／各賞受賞者紹介
在宅歯科医療委員会からのお知らせ／老健事業報告／34回学術大会案内
ECG報告／Gerodontologyに関するお知らせ／専門医認定者の声／支部だより

第 33 回学術大会が盛会裡に終了しました！

大会長 小野高裕
(新潟大学包括歯科補綴学分野)

第 33 回学術大会（現地開催：6 月 10～12 日，オンデマンド配信：6 月 17 日～7 月 9 日）をなんとか大過なく終えることができました。まずは、ご後援・ご協賛団体ならびに企業各位，学会事務局と運営事務局の皆様のご支援とご尽力に厚く御礼申し上げます。そして，本学術大会に参加登録をいただきました約 1,900 名の皆様，本当にありがとうございました。現地開催をいたしました 3 日間は，幸いお天気にも恵まれ，新潟市民芸術文化会館（りゅーとびあ）と新潟県民会館には約 900 名の方が参集されました。懇親会は開催できませんでしたが，新潟に来られた皆様には，十分「噛んで，味わって，話し合っ」ていただけたようです。

【現地開催】【ライブ配信】【オンデマンド配信】を組み合わせた「スーパーハイブリッド方式」がうまくいくのか，私どもにも多くの不安がありました，学会場で多くの方から「久しぶりの対面学会は楽しいね！」と笑顔で声をかけていただき，何より嬉しく安堵いたしました。しかし，はたしてオンライン参加された皆様にも学会を楽しんでいただけたらうか…その結果はまだ出ておりませんが，いろいろ反省点はあるはずですが，With コロナの生活はまだ続きますので，来年の学術大会の参考にしていただけるようしっかりとレポートを出したいと考えております。



前回(32回)大会長の河相先生と水口理事長



小野大会長



次回(34回)大会長の菊谷先生



緑に囲まれた会場の外観



にぎやかな受付の様子



キキとモモ新潟 ver.



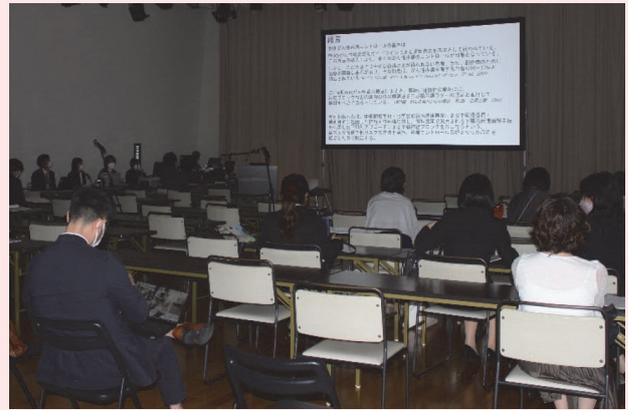
Prof. Martin Schimmel のリモートによる特別講演 1



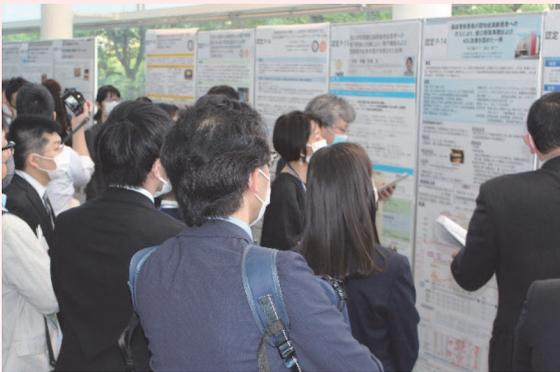
学術委員会によるシンポジウム 1 の様子



能楽堂も会場として使用しました (シンポジウム 7)



一般口演の様子



認定医審査ポスタープレゼンテーション



Meet the President のオフショット



小野大会長, 堀準備委員長, 新潟大学の先生方



クリアファイル, 缶バッジも配布しました

一般社団法人日本老年歯科医学会 理事長挨拶

このたび2022～2023年度の理事長を務めさせていただき水口俊介です。前期に引き続きとなりますが、「健康長寿に貢献する老年歯科の誇りと決意」というスローガンを掲げ務めさせていただきたいと思っております。

さて、久しぶりの第33回学術大会は楽しかったですね。大会長の小野教授および準備委員長の堀准教授をはじめ教室の方々に改めまして厚く御礼申し上げます。会期中、さまざまなシンポジウムの議論を聞き、多くの方から直接お話を聞き、これから本会が取り組まなければならないことが、より明確になってきました。また、これまで注目しているながら、実際に具体的な行動に移せなかった事項についても、実行への足掛かりをいただきました。やはりコミュニケーションが大切です。フェイスブックやツイッター、メールなどでもどんどんご意見をいただきたいと思



一般社団法人日本老年歯科医学会理事長
水口俊介

います。われわれの活動が国民の皆様の健康に十分貢献できるように、さらに知識を得て、さらに工夫をして、そしてそれらを共有して、本会の活動を盛んにいたしましょう。

本会役員が改選されました



2020～2021年度理事・監事・幹事
学会運営へのご協力、ありがとうございました。



2022～2023年度理事・監事・幹事
2年間どうぞよろしくお願い申し上げます。

2022 年度各賞受賞者紹介

【功労賞】

柿木保明（九歯大・名誉教授）

眞木吉信（東歯大・名誉教授）

【老年歯科医学賞 / 渡邊郁馬賞】

田中友規（東大・院医・加齢医）

【優秀奨励論文賞（ライオンアワード）】

野本亜希子（浜松市リハビリテーション病院・歯科）

濱 芳央子（原土井病院・歯科）

【優秀課題口演賞】

加藤陽子（日歯大・口腔リハビリテーション多摩クリニック）

鈴木啓之（医科歯科大・院歯・高齢者歯科）

【優秀ポスター賞】

稲本香織（北大・院歯・高齢者歯科）

高澤理奈（日医大病院・口腔科）

田中紘子（藤田医大病院・歯科口腔外科）

野本亜希子（浜松市リハビリテーション病院・歯科）



「在宅歯科医療の基本的考え方 2022」「歯科訪問診療における感染予防策の指針 2022」が 日本歯科医学会歯科診療ガイドラインライブラリへ収載されました！

在宅歯科医療委員会前期委員長 佐藤裕二

本委員会では2016年に「在宅歯科医療の基本的考え方」を発売しました。これは、多くの書籍やホームページで引用され、在宅歯科医療の推進に大いに貢献してきました。しかしながら6年が経過し、COVID-19の蔓延により在宅歯科医療の考え方に変化が生じ、いくつかの用語の定義も変わってきたので、このたび改訂版を作成しました。

また2021年には、COVID-19の流行により在宅歯科医療が大きな制約を受けたため、「歯科訪問診療における感染予防策の指針 2021」を作成しました。その後、入院

ができなかった多くのCOVID-19患者が在宅や宿泊施設での療養を余儀なくされる事態となったため、これに合わせて、最新の知見を取り入れて2022年版に改訂しました。

これらの「基本的考え方」や「指針」の最新版は学会HPで公開するとともに、日本歯科医学会歯科診療ガイドラインライブラリにも収載されました。多くの方々の参考になればと願っています。



厚生労働省 令和3年度老人保健健康増進等事業 実施報告

特任委員会（老健事業） 渡邊 裕

「施設系サービス利用者等の口腔衛生等の管理に関する調査研究事業」

施設系サービス利用者等の口腔衛生等の管理に関する郵送質問紙調査、施設系サービス利用者の口腔衛生等の管理に関する縦断調査、介護保険施設・居宅系サービスにおけるオンライン診療等に関する調査を実施しました。

報告書は学会ホームページ
(https://www.gerodontology.jp/about/file/plan/2021_enhancement_business_report.pdf)
に掲載しています。



第 34 回学術大会のご案内：#JSG23

一般社団法人日本老年歯科医学会 第 34 回学術大会を下記の要領で開催いたします。大会テーマは、“生きるための、しあわせのための「くち」を守る”です。本会は、第 33 回老年学会との合同開催となりますので、たくさんの学びを得ることができる会となります。長きにわたったコロナ禍もそろそろ明ける兆しがみえてきました。多くの参加者と集い、語り合う時間を取り戻しましょう。現地参加と web 参加のいずれも可能としています。どうぞ奮ってご参加ください。

会 期：2023 年 6 月 15 日（木）～18 日（日）
 会 場：パシフィコ横浜
 〒220-0012 横浜市西区みなとみらい 1-1-1
 名誉大会長：羽村 章（日本歯科大学生命歯学部高齢者歯科学 教授）
 大会 長：菊谷 武（日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック 院長・教授）
 準備委員長：田村文誉（日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック 科長・教授）

実行委員長：高橋賢晃（日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック 院長・講師）
 内 容：特別講演，シンポジウム，課題口演，一般演題（e ポスター）など企画多数



32nd Annual Congress of European College of Gerodontology 参加報告

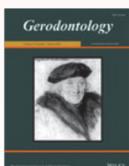
渉外委員 多田紗弥夏

2022 年 6 月 17, 18 日に開催された第 32 回目となるヨーロッパ老年歯科医学会（ECG）学術大会に参加して参りました。今年もバーチャル開催でしたが、世界各国から約 300 名が集う盛況ぶりでした。学術大会テーマは“Patient-related outcomes”で、講演や一般演題のほとんどが要介護高齢者への口腔ケアや認知症に関するトピックでした。恒例イベントとなった ECG-JSG の交流企画では、平野浩彦先生（東京都健康長寿研）、井藤佳恵先生（東京都健康長寿研）、古屋純一先生（昭和大）がご登壇され、日本における認知症患者さんへの取り組みを総括的にご紹介されました。白熱した Q&A タイムからも欧州における日本の取り組みへの関心の高さを感

じました。来年は 2023 年 9 月 15～17 日にストックホルム（スウェーデン）で開催予定です！



「Gerodontology」に口腔機能低下症特集号が掲載されました！



Volume 39, Issue 1
 Special Issue: Oral Hypofunction and Oral Frailty
 pages: i-iii, 1-106
 March 2022
 Issue Edited by: Shunsuke Minakuchi,
 Kazunori Ikebe, Koichiro Matsuo



新規 専門医認定者の声

堀部耕広先生

(東京歯科大学老年歯科補綴学講座)

私は現在、東京歯科大学水道橋病院の補綴科に勤務しています。そこでは高齢者を中心に補綴治療を中心とした外来診療、訪問診療、研究を行ってきました。専門医申請のきっかけは、高齢者の口腔機能の維持向上を目指すには、補綴治療だけではなく、



機能管理も考慮に入れたより高い専門性のある治療計画がなされることが重要であると考えたからです。専門医認定試験のための勉強を通じて、摂食嚥下、高齢者に起こる慢性疾患、フレイルや認知症に対する知識や対応を確認することができ、それが現在の日々の診療においても活かすことができています。今後も引き続き高齢者歯科医療に関してさらなる研鑽を積んでいきたいと思えます。

| 支 | 部 | だ | よ | り |

北海道支部主催セミナー 「第21回北海道口腔ケアセミナー」 開催報告

北海道支部 山崎 裕

2022年5月28日(土)に第21回北海道口腔ケアセミナーを昨年と同様、オンラインにて開催しました(参加者114名)。今年度は弘中祥司先生(昭和大歯・スペシャルニーズ・口腔衛生)に「小児の口腔機能発達不全症を予防する」、大橋伸英先生(札幌医科大・口腔外科)に「“周術期等口腔機能管理”とは？患者さんが来た時にやるべきことは？」をそれぞれご講演いただきました。弘中先生からは、小児の食における問題点、特に哺乳や弁当に関して目から鱗が落ちる話をたくさんお聞きし、大橋先生からは、周術期の口腔管理で陥りやすい注意点や問題点などをわかりやすくご説明いただき、会員にとってたいへん有意義なものになりました。



講演中の弘中先生(上段)と大橋先生(下段))

奈良支部共催セミナー 「『オーラルフレイル・口腔機能低下症・ 摂食嚥下機能障害の予防と対応』研修会」 開催報告

奈良支部 小向井英記

2022年6月26日(日)13:00~15:30、奈良県歯科医師会館地階講堂にて標記セミナーを奈良県歯科医師会と奈良県歯科衛生士会の共催で開催しました。講師に日本歯科大学教授・口腔リハビリテーション多摩クリニックの菊谷武先生をお迎えし、上記テーマのもと、「オーラルフレイルと口腔機能低下症に歯科はどうかかわるか？」という演題をWebにてご講演いただきました。参加者102名はすべて会場からの参加で、多くの症例の閲覧と、臨床に直結する知識を得ることができました。



講演中の菊谷先生

編集後記

Withコロナの第33回学術大会(#JSG22)が盛会のうちに終了しました。今回はスーパーハイブリッド形式という新たな形で行われ、会場、オンラインで熱い議論が交わされました。また久しぶりの対面ということもあり、多くの名刺を使う機会も…。その余韻に浸れるよう、ニュースレター#48をお届けいたします。今後も広報委員会ではSNSをはじめとした、新しい形の情報発信と交換に取り組みます。それらを通じ、みなさんと学会を盛り上げていきましょう！(河相安彦)



発行人 水口俊介
編集 (一社)日本老年歯科医学会広報委員会
事務局 〒170-0003 東京都豊島区駒込1-43-9
駒込TSビル (一財)口腔保健協会内
E-mail gakkai30@kokuhoken.or.jp